

脳血流 SPECT が像解析に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属溝口病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年12月15日～2023年3月31日

〔研究課題〕 99mTc-ECDによるPatlak Plot法におけるRI angiography時の頭部顎引き角度が平均脳血流量に与える影響に関する研究

〔研究目的〕 脳血流 SPECT 検査を実施された物忘れ外来の患者様を対象とし、検査時の頭部の顎引きの角度が脳内の血流量の算出に影響を与えるため、その影響の程度を明確にすることを目的とします。

〔研究意義〕 上記を明らかにすることで、解析算出処理された平均脳血流量に関して、検査時の状態を考慮した適切な診断結果を得られるようになる可能性があります。

〔対象・研究方法〕 対象となる患者様は、2012年1月から2013年12月の間に、当院(帝京大学医学部附属溝口病院)の物忘れ外来を受診された患者様で、脳血流 SPECT 検査を実施された方です。ただし、脳血流 SPECT 検査の結果が異常なしと判断された患者様のみとなります。対象となる患者様の脳血流 SPECT 検査時の頭部画像から顎引きの角度を計測し実施されます。脳血流 SPECT 検査で既に得られている平均脳血流量に対して、顎引きの角度の影響を評価します。これに加えて、患者様のカルテなどの診断情報から、患者様の性別や年齢などを調べて解析算出処理された平均脳血流量との関連についても評価します。

本研究は金沢大学との共同研究です。金沢大学には画像計測データが提供され、脳血流 SPECT 画像そのものや個人情報提供されません。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部附属溝口病院

〔個人情報の取り扱い〕 収集した情報は、氏名や住所など患者様を直接特定できる個人情報を除いた上で匿名化いたしますので、個人を特定できるような情報が漏洩することはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で公表される予定ですが、公表する内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。この研究の対象となる方が、ご自身の診療情報の利用を拒否したい場合には、拒否することが可能です。下記記載の連絡先までお知らせください。ただし、ご連絡いただいた時点で論文や学会ですでに公表された情報などは、対象外とすることができない旨ご了承ください。

〔その他〕 謝金はありません。

この研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 多湖正夫 帝京大学医学部附属溝口病院 放射線科 教授
研究分担者: 平木仁史 帝京大学医学部附属溝口病院 中央放射線部 係員
住所: 神奈川県川崎市高津区二子 5-1-1 TEL: 044-844-3333(代表)[内線 3349]